



看護職



徳島新聞富田専売所 徳島市富田橋4丁目6-4 電話0120-44-6106

👉 お仕事に役立つ3つのポイント



①暮らし面(健康・医療)
病気(症状)について詳しく説明されている。医療従事者側は理解している病名・治療法でも、新聞は医療用語を使わず簡潔明瞭。現場で患者さんやご家族に説明するヒントになる。

②紙面全体
自分と異なる世代の方との会話は難しい。そこで従事者側と異なる世代の患者側との共通の話題を提供してくれるのが新聞。世代を超えた会話から共感と、信頼関係が生まれる。

③社説やオピニオン
テレビやスマホと違い、一つの事に対してあらゆる視点や意見から考えることが出来、視野が広がる。病名が同じでも、患者さんによって対応方法を変える必要があるため。

🗨️ 具体的な徳島新聞活用術

■病気の流行記事

例えば「はしか・手足口病・流行性耳下腺炎・水疱瘡」が、どの地域でどれ位流行っているかを記事で知っていれば対応に役立つ。インフルエンザも同様で、特に介護施設などでは集団感染しないよう、職員や利用者に注意を呼びかけている。



■医療・介護保険・後期高齢者医療制度等の記事

新聞が一番早く正確に知ることができる。例えば看護師、介護、ケアマネ、理学療法士や作業療法士、薬剤師などの専門職の方々は個々で専門誌を購読し、行政による変化に対応している人が多いが、月刊誌か早くても週刊誌になる。



■潮の満ち引きを確認

助産師の方でお産に備えて、潮の満ち引きを新聞でチェックしている人がいる。



■交代制勤務でも安心

看護師で3交替や2交替をされている人は忙しくてテレビは見られない。自分のペースで読める新聞を頼りにしている。

👍
こんな活用術いかがですか？

医療・福祉の分野、特に高齢者の介護保険などの制度は常に変化しています。そのような改正・変更も徳島新聞は一般読者を対象にしていますので、わかりやすい言葉で正確に解説して掲載してまいります。職場でも他人に伝えやすい文章ですので、お役に立つことが出来ると思います。大変悩まされたしい仕事ですが、そんな忙しい方でも新しい情報を持ってほしいのです。職場に持っていき、休みにも目を通していただきます。

所長 七田伸也



所長ひとこと

